

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-181	高等学校	外国語	論理・表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論II 212-901	FACTBOOK English Logic and Expression II New Edition		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Part 1	Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	食生活についての意見を述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、健やかな身体を養う。(第1号)	pp.14-23
	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger	飢餓支援の取り組みについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.24-33
	Thinking Logically 1 Donating the right kind of food	フードバンクに送るに相応しい食べ物について述べる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号)	pp.34-37
Part 2	Unit 3 What are the good and bad sides of urbanization?	都市化の問題や利点について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号)	pp.38-47
	Unit 4 Is your city sustainable enough?	持続可能な都市への取り組みについて述べる活動を通じて、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.48-57
	Thinking Logically 2 Well-managed city for the future	大都市で起きている問題とその解決策を述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.58-61
Part 3	Unit 5 Which should get more priority: culture or the environment?	環境保護を伝統文化より優先すべきかを述べる活動を通じて、伝統と文化を尊重するとともに、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.62-71
	Unit 6 How to live a plastic-free life	プラスチックごみの削減について述べる活動を通じて、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.72-81
	Thinking Logically 3 Thinking globally, acting locally	環境を助けるためにできる簡単な方法について述べる活動を通じて、創造性を培いながら、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.82-85

Part 4	Unit 7 Helping others at home and abroad	NGO の社会貢献活動について述べる活動を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第 5 号)	pp.86-95
	Unit 8 Challenges to equality	ジェンダー平等について述べる活動を通じて、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第 3 号)	pp.96-105
	Thinking Logically 4 The growing role of charities	チャリティについて述べる活動を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.106-109
Part 5	Unit 9 Produce locally, consume locally	地産地消について述べる活動を通じて、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第 2 号)	pp.110-119
	Unit 10 Sharing as one way to create new value	シェアリングエコノミーについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.120-129
	Thinking Logically 5 Community living, community thriving	都市や地方での生活の利点について述べる活動を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養う。(第 5 号)	pp.130-136

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第 51 条第 2 号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」及び第 3 号の「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を目指して、特に以下の点に留意した。

- ・ 文法については、最初に当該文法を用いるに相応しい目的・場面・状況を設定し、タスク活動を行った後から、その文法について学習するという「タスク先行型」の構成にすることで、言語活動と文法を効果的に関連付けて学習できるようにした。(Unit 1～10 の Speak および Write の活動)
- ・ 日常的な話題や社会的な話題について幅広い視点からやり取りや発表、書く活動を行うことができるように、SDGs (持続可能な開発目標) に関連する話題を取り上げた。「論理・表現 I」からの発展を考慮し、生徒が身近な話題からより社会的な話題へと視点を広げて SDGs について考えられるような場面・状況を設定した。
- ・ 各 Unit の話す活動においては、まずは聞いた内容を相手に伝えるリテリングの活動を掲載し、その次にディスカッションの活動を設けた。生徒にとって比較的なじみの薄いトピックにおいても、リテリング活動を通してインプットを補うことで、効果的なアウトプットができるように配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-181	高等学校	外国語	論理・表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論II 212-901	FACTBOOK English Logic and Expression II New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- ・公共の精神に基づき、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、SDGs（持続可能な開発目標）を参照しつつ、現代において解決すべき諸問題を幅広く採り上げた。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や相手の考えなどを的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養うために、各課のトピックに関連した特定の場面・状況を設定し、明確な目的をもってやり取りができるタスク活動を豊富に用意した。
- ・生徒が文法の規則を理解するだけでなく、それらをコミュニケーションの側面から捉えられるように、文法学習の前に、当該文法を使うに相応しい場面・状況を経験できる言語活動を行う構成とした。
- ・生徒が言語活動に主体的・自律的に取り組むことができるよう、活動後に振り返りの機会を設けるとともに、自己評価や自己改善に活用できる評価ルーブリックを用意した。

II. 教科書の構成

- ・テーマごとに5つのPartを設け、各Partは2つのUnitと1つのThinking Logicallyで構成している。
- ・Unitでは、タスクでの話す活動や書く活動を通して、機能的な表現や文法事項を学習する。
[話す活動 (Speak)]
Speak①：ペアになり、特定の場面・状況とタスクを確認した後、それぞれ異なるプレゼンテーションを聞き、その内容を互いに説明（リテリング）し合う。
Speak②：ペアまたはグループになり、特定の場面・状況とタスクを確認した後、ディスカッションを行う。
[書く活動 (Write)]
特定の場面・状況とタスクを確認した後、奇数Unitでは意見文を、偶数Unitではさまざまな形式の文章を書く。まずは3文程度の文章を書き、その後Write Moreのコーナーで5文程度、Write More+のコーナーで7文程度の文章へと膨らませ、より論理的で豊かな文章へと改善させる。
- ・Thinking Logicallyでは、Unitで学習したテーマへの理解を深めながら、さまざまな型を用いたパラグラフライティングや、複数のパラグラフで構成されているエッセイのライティングを学習する。
[Thinking Logicallyで扱うライティングの型]
Thinking Logically 1：Descriptive（描写型）のパラグラフ
Thinking Logically 2：Problem/Solution（問題解決型）のパラグラフ
Thinking Logically 3：Cause and Effect（原因・結果型）のパラグラフ
Thinking Logically 4：Compare and Contrast（比較・対比型）のパラグラフ

Thinking Logically 5 : 3-Paragraph Essay (3 パラグラフ構成のエッセイ[意見文])

- Skills のページでは、サマリーライティング、スピーチ、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションについての解説と活動を設けている。Unit で扱うテーマや活動と関連させて行うことができる構成としている。

Ⅲ. 各課の学習の流れと編集上の留意点

[Unit 1～10]

• CAN-DO!

当該 Unit を通して英語でできるようになることを示し、学習の目的を明確化した。

• Small Talk

吹き出しの質問をヒントにペアで会話を行うことで、スキーマを活性化し、当該 Unit で扱うトピックへの関心を高められるようにした。会話をスムーズに始めるための支援として、QR コードを通して導入用の動画を見られるようにした。

• Listen/Communication Strategies

同じスクリプトを 2 回聞き、1 回目のリスニングでは会話の要点を整理し、2 回目のリスニングでは会話内で使用されている談話方略 (Communication Strategies) を確認できるようにした。

• Speak①

目的・場面・状況を設定し、ペアになってそれぞれプレゼンテーション音声を聞き、その内容を英語で説明 (リテリング) する活動を設けた。巻末の Information Card には説明の概要図を示し、リテリングの参照用資料として使えるようにした。

• Reflection

1 回目のタスクを行った後に、うまく言えたことや言いたかったのに言えなかったことを振り返るコーナーを設け、学習への動機づけを高めるようにした。

• Speak Again

Useful Expressions と Model Dialogue の学習を踏まえて再度タスクを行うことで、学習の成果を確認できるようにした。

• Useful Expressions

タスクを行う上で役立つ表現を整理した。文法学習ページとのリンクを設け、言語活動と文法学習を効果的に関連づけられるようにした。

• Model Retelling

Useful Expressions にある表現を用いたリテリング例をモデルとして掲載した。プレゼンテーション内容を伝えるだけでなく、自身の考えや気持ちも付け加えることで、生徒が自分事としてリテリングに取り組めるように工夫した。

• Speak②

目的・場面・状況を設定し、ペアまたはグループになって英語でディスカッションを行う活動を設けた。Speak①と同様に、Speak Again や Useful Expressions も掲載した。

• Model Discussion

Useful Expressions に示されている表現を用いたモデルディスカッションを聞き、図をもとに要点をまとめる設問を掲載した。ポイントを整理させることで、Speak Again で再度ディスカッションを行う際の参考にしやすくなるよう工夫した。

• Write

Speak と同様に、書くための特定の目的・場面・状況を設定した。奇数 Unit では短文投稿型の SNS，偶数 Unit ではウェブ掲示板という形式において、それぞれに書かれている質問や相談に対して 3 文程度の返信を書く活動を用意した。自身の返信を書く前に、2つのモデル文を分析する設問に取り組むことで、3文をどのように構成するとよいか参考にできるよう配慮した。

• Write More

Write で書いた 3 文をもとに、5 文程度の文章を書く活動を用意した。

【奇数 Unit: 意見文のパラグラフ】

- 自身の文章を書くための支援として、まずはモデルの意見文をもとにした例題に取り組むことで、文章を拡張させていくための観点を徐々に身につけられるようにした。また、各文を OREO に分類することで、文どうしのつながりを理解できるようにした。

【偶数 Unit: 多様な形式の文章（相手を想定したメッセージや校内新聞など）】

- 自身の文章を書くための支援として、まずはモデルの文章をもとにした例題に取り組むことで、読み手を配慮しながら文章を拡張させていくための観点を徐々に身につけられるようにした。また、各文の機能を示すことで、文のどうしのつながりを理解できるようにした。

モデル文にはその Unit で学習する文法を使用した表現を含めることで、場面・状況・目的を踏まえて文法学習ができるように配慮した。また、トピックについてのインプットを支援するため、教科書の登場人物たちがオンラインチャットで議論をしている内容を QR コードから確認できるように工夫した。

• Write More +

Write More で書いた 5 文程度の文章を 7 文程度の文章に膨らませる活動を用意した。Write More と同様にモデル文をもとにした例題を用意し、2つのレベルの文章を比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。また、文の構成や表現を改善する問いも設けることで、文を追加するだけでなく、より洗練された文を書くことに意識が向くように配慮した。

• Reflection

Speak と Write の一連の活動と学習を行った後、Can-Do で示されていた目標を踏まえて、自身でできるようになったことを振り返るコーナーを設け、学習への動機づけを高められるようにした。

• GRAMMAR

タスク活動で使用した文法を効果的に学習できるように、例文の右に Useful Expressions へのリンクを示した。Drills はタスクと同様のトピックや場面に基づいた設問とすることで、短文であっても使用場面が想定しやすくなるように工夫した。Grammar in Context では、学習した文法をまとまりのある会話や文章の中で使えるような設問を掲載した。また、誤文訂正の問題を掲載することで、生徒が適切な文法について使用の観点から意識できるよう配慮した。

[Thinking Logically 1~5]

• Small Talk

吹き出しをもとに会話をすることで、スキーマを活性化し、トピックへの関心を高められるようにした。

• Logical Writing Tips

比較的短い文章を例に、説明不足や趣旨からの逸脱といった論理的課題を改善するコーナーを用意した。

• Tips for Writing a “○○” Paragraph

Logical Writing Tips の文章を改善したものをモデルとして、各 Thinking Logically で扱うライティングの型について解説するコーナーを設けた。また、その型のライティングにおいて使用頻度の高い表現のリストを掲載し、形式と表現を一体的に学習できるよう工夫した。

• Write

論題についてライティングを行うにあたり、Organizing, Outlining, Drafting, Improving の4つのステップを設け、段階を踏んでパラグラフを書けるようにした。Improving では、Model Paragraph A, B の文章について設問を解きながら、パラグラフの構成や内容を確認できるようにした。2つのレベルを掲載することで、それぞれを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

• Logic Practice for Giving Opinions

QR コードを通して、論理的な文章を書くうえで陥りがちな誤謬について学習するための動画やワークシートを利用できるようにした。

[Skills]

• Writing a Summary

長めの文章を要約する活動を設けた。3つのステップを通して段階的に要約を行う例題を設けることで、要約を作成するプロセスを体感できるように工夫した。

• Making a Speech

聞き手に配慮したスピーチを行うためのページを用意した。ライティング原稿とスピーチ原稿を比較することで、それぞれの表現上の違いに気づき生まれるよう工夫した。

• Having a Discussion

Unit で行っているペアやグループでのディスカッションをより効果的に行うためのページを用意した。グループディスカッションでは参加者の役割を固定したディスカッションの例を紹介することで、参加者が自身の役割や目的を意識しながらディスカッションに臨めるように工夫した。

• Having a Debate

即興型ディベートの方法についての解説やモデルを示すページを用意した。Unit で扱った論題を利用することで、Unit の学習の延長として即興型ディベートに取り組めるよう配慮した。

• Making a Presentation

効果的な視覚資料を作成してプレゼンテーションを行うためのページを用意した。Unit で扱ったトピックを利用することで、Unit の学習の延長としてプレゼンテーションに取り組めるよう配慮した。

[その他]

- 表見返しには、生徒が言語活動を行うにあたり文章を適切に作るための支援として、「修飾と2つのルール」の例文・説明や、意見文のパラグラフ構成 (OREO) についての説明を掲載し、活動時に容易に参照できるようにした。
- 裏見返しには、生徒が自身のライティングやスピーキングを分析的に評価できるように、巻末に評価ルーブリックを掲載した。また、Unit での Small Talk やタスク活動など、やり取りを行う際に参照できる表現集 (Communication Strategies) を掲載した。
- 生徒が教科書の活動や学習をより効果的に行うためのツールとして、QR コードを通して動画や音声、ワークシート等さまざまな情報を活用できるようにした。

2. 対照表							
図書の構成・内容	内容				内容の 取扱い	該当 箇所	配当 時数
	(1) 英語の特徴やき まりに関する事項	(2) 情報を整理しながら考 えなどを形成し、英語で表 現したり、伝え合ったりする ことに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項				
			①言語活動に関す る事項	②言語の働きに関 する事項			
Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.14-23	5
Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	○	pp.24-33	5
Thinking Logically 1 Donating the right kind of food	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.34-37	2
Unit 3 What are the good and bad sides of urbanization?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.38-47	5
Unit 4 Is your city sustainable enough?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	○	pp.48-57	5
Thinking Logically 2 Well-managed city for the future	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.58-61	2
Unit 5 Which should get more priority: culture or the environment?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.62-71	5
Unit 6 How to live a plastic-free life	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	○	pp.72-81	5
Thinking Logically 3 Thinking globally, acting locally	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.82-85	2
Unit 7 Helping others at home and abroad	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.86-95	5
Unit 8 Challenges to equality	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	○	pp.96- 105	5
Thinking Logically 4 The growing role of charities	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.106- 109	2
Unit 9 Produce locally, consume locally	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア) (イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.110- 119	5
Unit 10 Sharing as one way to create new value	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)	○	pp.120- 129	5
Thinking Logically 5 Community living, community thriving	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.130- 136	2
Writing a Summary	ア(イ)	ア, イ	ア	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.138- 139	1
Making a Speech	ア(イ)	ア, イ	ア, ウ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.140- 141	1
Having a Discussion	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.142- 144	1
Having a Debate	ア(イ)	ア, イ	イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ)(オ)	○	pp.145- 147	2
Making a Presentation	ア(イ)	ア, イ	ア, ウ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ) (エ)(オ)	○	pp.148- 150	2